

白熱した機甲戦闘により任務完遂!! 機動戦闘車中隊訓練検閲



▲訓練開始式



△練度判定(法務テスト)



△練度判定(救急法)



△中隊長自ら無線確認



▲車両行進



▲白熱した戦いを繰り返す



△小銃小隊も奮闘

第6即応機動連隊(連隊長・中津健士1佐)は6月15日から6月16日までの間、北海道大演習場において令和7年度機械化部隊戦闘訓練評価支援センター方式による訓練(AC-TESC)参加に合わせ機動戦闘車(MCV)中隊の訓練検閲を実施した。

本検閲に先立ち開始式が行われ、統裁官は要望事項「各級指揮官は適切な状況判断の下、指揮の要訣を実践せよ」、「諸職種の戦闘力を組織化せよ」及び「安全管理に万全を期せ」の3点を要望した。

本検閲では、本部管理中隊施設小隊、対戦車小隊、第1、2普通科中隊の2個小銃小隊及び火力支援中隊前進観測班が協同してMCV中隊を支援した。

検閲課目は車両行進及び遭遇戦であり、遭遇戦はレーザー光線などを用いた交戦訓練装置(バトラー)による他部隊との対抗方式の戦闘について、増強MCV中隊の練度を評価した。

増強MCV中隊は戦闘開始までに、諸職種部隊と綿密な調整を繰り返し行い、戦い方を一隊員まで徹底することによって全ての職種・機能の能力を最大限に組織化し、任務を完遂出来るよう、認識の共有を図った。

状況が開始されると、増強MCV中隊は果敢な攻撃を実施するとともに、偵察小隊により敵情・地形を解明し、引き続き中隊主力をもって敵部隊を攻撃し、獲得した敵情をネットワークにより共有し、対機甲火力を発揮し、上級部隊から示された任務を完遂した。

MCV中隊は今回の訓練の成果を教訓として反映させ、さらに精強な部隊へと進化を続けていく。

令和7年度自衛官候補生教育隊 「25km徒步行進訓練」 「戦闘訓練試験」

第6即応機動連隊

同期とともに歩き抜く！

25km徒步行進訓練

第6即応機動連隊自衛官候補生教育隊(教育隊長・松本浩紀准陸尉)は、6月6日、自衛官候補生に対し、美幌訓練場と美幌駐屯地を使用して25km徒步行進を実施した。

本訓練は、徒步行進における部隊行動を修得させることを目的に行進規律の維持(行進隊形、行進速度)、行進間における通伝要領の2点を主要演練項目として実施した。

訓練に先立ち、前日に隊容検査を実施して武器の脱着防止、装具の取り付け要領や背のう内容品の防水処置等について確認が行われた。

訓練当日は晴れ渡った青空の中、候補生は武器・装具等約20kgを身に付けて、準備を済ませると午前7時40分に美幌訓練場入口を通過して25km徒步行進訓練を開始した。

行進間、行進速度・間隔の維持、結節時の装具

点検、警戒等の基礎的動作を演練した。

午前11時30分頃、約

16kmの休止地点の美幌訓練場滑走路に到着した

候補生は、ご家族、美幌自衛隊女性協力会、帯広市自衛隊家族会、帯広地方協力本部等からの激励と給水を受けてそれまでの疲労を回復し、残りの行進に備えた。

行進の後半は、足の痛みや疲労で苦しい表情を見せる候補生もいたが、班長や同期の励ましもあり、午後2時30分頃、参加した候補生全員が25kmを歩き抜いた。



▲激励を受ける候補生



▲班長に励まされる候補生

戦闘訓練試験

大きな自身と達成感

第6即応機動連隊自衛官候補生教育隊は、6月13日、美幌訓練場において自衛官候補生(以下「候補生」という)に対し、戦闘訓練試験を実施した。

本試験は、軽易な陣地に対する攻撃において、小銃手としての基本的な

各個戦闘動作の練度を評価・判定することを目的に「隠蔽・掩蔽」、「射撃を伴う発進・停止」、「ほふく要領」、「突撃準備及び突撃」の4点を主要評価項目として実施した。

戦闘訓練試験において候補生は今まで練成して

きた成果を遺憾なく発揮し、攻撃発起から目標奪取までの一連の攻撃行動を実施、突撃発起前には、ほふく前進で土まみれになりながら勇猛果敢に行動して攻撃目標を奪取した。

本試験において今後の自衛官としての大きな自信を得るとともに達成感に満ち溢れた顔で戦闘訓練試験を終了した。



▲班長の号令で一斉に前へ



▲前進準備



▲射撃支援



▲ほふく前進

駐屯地司令要望事項「愛される駐屯地を目指して」 自衛隊に対する理解の深化・地域との連携強化を図る

自衛隊の災害派遣を学ぼう！

小清水中学校授業支援

第6即応機動連隊

第6即応機動連隊第3普通科中隊（中隊長・菅原正規3佐）は8月1日付異動）は6月13日、小清水中学校において防災学校の授業を支援した。

本支援は小清水中学校において防災講話等を実施するとともに、自衛隊の災害派遣における装備品を展示し、自衛隊に対する理解の深化と地域との連携強化を図ることを目的として実施した。

支援当日、小清水中学校体育館において、中隊長が自衛隊の災害派遣の概要について導入教育を実施した。

次に、3組に分かれ、装備品展示、体験試乗、背のう・ロープ結索及び担架体験をラウンドロビン形式で実施した。特に、96式装輪装甲車の体験試乗は学生にとっては普段乗ることがない車両であるため好評であり、走行中に上部ハッチから顔を出して乗り心地を体験した。

体験終了後、生徒からは「背のうのあまりの重さに驚いた」、「普段あまり出来ない体験が出来て良かった」など、貴重な体験ができたことに感謝の声が多数聞かれた。



▲装備品展示



▲体験試乗

自衛隊車両と記念撮影 消防フェスティバル

第6即応機動連隊

第6即応機動連隊火力支援中隊（中隊長・林志1尉）は、6月22日、網走地区消防組合が主催する大空町消防団合同消防演習消防フェスティバルにおいて、自衛隊車両及び災害派遣等装備品の展示支援を行い自衛隊の活動についてPRを行った。

このイベントは、親子で楽しめる企画になっており、消防や自衛隊のいろいろな車とふれあいが記念撮影や各種イベントを楽しめる内容になっていた。

第6即応機動連隊から

は、災害があった際に人員を輸送する96式装輪装甲車（WAPC）や被害地域を偵察するオートバイ等の車両展示のほか、迷彩服や背のうの試着コーナー等を設け自衛隊のPRを行った。

会場には多くの来場者が訪れ、車両展示では、日ごろ間近で見ることのない車両に乗ったり、車両をバックに記念撮影を楽しむ等、多くの親子で賑いをみせた。



▲試着コーナー



▲自衛隊の装備品体験



▲親子で記念撮影



▲大勢の人で賑わう

紙からデジタルへ
Webに移行します！

北辰新聞

北辰新聞をご愛読ありがとうございます。

これまで長年にわたり紙媒体で配布してまいりました北辰新聞ですが情報発信のさらなる迅速化・効率化を目的として令和8年3月号をもって紙での配布を終了することとなりました。

今後は、駐屯地ホームページ内での掲載となり、これまでより更に見やすく、お手元のスマートフォンやパソコンからいつでもご覧いただけるようになります。

紙媒体での新聞を楽しみにしてくださっていた皆様には、突然のお知らせとなりましてことをお詫び申し上げますとともに、これまでのご理解とご協力を感謝申し上げます。

今後とも、北辰新聞をよろしく願います。

駐屯地ホームページ
画面のこちらから
アクセス！

陸上自衛隊 美幌駐屯地
Ground Self-Defense Force Camp Bihoro





駐屯地司令紹介



駐屯地紹介



活動紹介



EVENT
イベント案内



広報紙(北辰)



駐屯地史料館



駐屯地見学

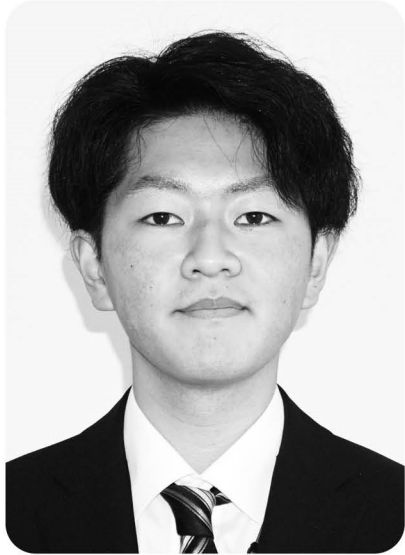


アクセス



お問い合わせ

フジジュアツプ



美幌町役場 建設部
建設課 公営住宅グループ

あい ざわ ゆう
相 澤 悠 さん

氏 名	相澤 悠	性 格	気楽な性格
職 業	美幌町役場 職員	好きな料理	麻婆豆腐
星座・血液型	おひつじ座 A型	理想の女性	話していて笑顔をたえない人
出身地	北見市	自衛隊で見てみたい物	実銃射撃
趣 味	野球観戦、サウナ	何か一言	わからないことだらけですか頑張ります！



業務隊長
陸曹長 三浦修一
(8月5日付)



6 即機火支中
陸曹長 多田幸司
(8月2日付)

8月
退官者紹介